

# 特別支援教育だより⑤

特別支援教育コーディネーター

## <教室でできる支援例>

①聞きもらしが多い児童，急な変更に対応しづらい児童への配慮

◎その日の時間割りを黒板に掲示する。

☆ポイント：教科は札を作って貼る。変更点をチョークで書く。

1	国語	
2	算数	業間なし
3	音楽	
4	体育	体育館
	給食	1:20
	下校	

②気持ちを込めた(ように見える)「ごめんなさい」ができない子

◎やり方を教える。



いつもと同じところ，  
違うところがわかりやすい。

連絡帳などに貼って，○△  
など簡単に評価を書き込め  
るようにする。

めあて	日にち	○△
①連絡帳を自分で書く。 ②授業中立ち歩かない。	12/5	○
	12/6	△
	12/7	○
	12/8	
	12/9	

③個に応じた目標を立てて取り組ませたいとき

◎全員がそれぞれ目標を決め，頑張りカードに自己評価する。

④人への関わりが苦手で，良くない関わり方をする児童への対応

◎良くない行動を，それに代わる行動に置き換えるよう絵や文字で示す。

例：仲間に入りたい時に抱きつく  
→×抱きつく ○「いれて」「あそぼ」

⑤生活の中で暗黙のルールがわかりにくい子への支援

◎一つ一つをルールとして教える。

例：ゲームの約束・・・勝ってもいばらない。負けても泣かない，怒らない。  
体育の見学のルール・・・座って見る。友達の動きを見て覚える。先生の話聞く。  
給食のおかわりをたくさんとる・・・おかわりは，おたま1杯まで

### ◇虐待と発達障がい

虐待を受けた子の脳は萎縮する傾向があり，そのために発達障がいと同様の症状が出る場合があるそうです。発達障がいがあるかないかは，健全な環境にいる状態でないと見極められないそうです。

### ◇WISCIII

知能検査の1つにWISCIIIがあります。(最近IVが出ました。)

「言葉で理解する力」や「言葉以外で理解する力」を調べるテストです。ことばの教室にもあり，1時間から1時間半くらいで行うことができます。13項目のテストをしてその偏りをみることで，その子の得意分野や苦手分野，苦手を補うための支援方法などを考えることができます。